

科目名 (科目番号)	栄養生理学実験 (091113)	教員名 澤田和彦	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	木・3～5	前期	単位数	1
			オフィスアワー		月・3～5	D306研究室(澤田)	
授業概要	人体の構造と機能I・IIで学んだ人体の正常な構造について、体表解剖や骨格標本の観察、小動物の解剖、組織観察、心電図や筋電図の測定などを通してより深く理解するとともに、健康管理を担う栄養分野の専門家となるための解剖生理学の基礎知識を身に付ける。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	骨格標本の観察	【到達目標】人体における骨や関節の構成、形状について骨格標本を用いて説明できる。 【学習内容】人体の骨格標本の観察。				
	2	体表解剖	【到達目標】体表から観察および触察が可能な解剖学的構造を説明できる。皮下脂肪の計測原理とBMIの算出法を説明できる。 【実習内容】自分の身体の体表を観察・触察。皮下脂肪の計測とBMIの算出。				
	3	小動物の解剖	【到達目標】胸腹部内臓の臓器の原位置、構造、有機的な繋がりについて系統立てて説明できる。 【実習内容】小動物(ラット)の解剖と、胸腹部内臓を肉眼解剖的観察。				
	4	血液の性状・血球の分類、血球の数	【到達目標】血液の液体成分の性状と、血球の数や、血球の形状による分類について説明できる。 【実習内容】採取した血液を用いた①血清または血漿の分離と観察、②血液塗末標本の作成と顕微鏡による血球の観察・スケッチ、③血球計算盤を用いた血球数の計測。				
	5	組織観察	【到達目標】上皮組織と支持組織の形状と分類について顕微標本を用いて説明できる。 【実習内容】上皮組織および支持組織の顕微解剖的観察とスケッチ。				
	6	膵臓の解剖と生理	【到達目標】糖負荷後の血糖値の変動について生理学的側面から説明できる。 【実習内容】糖負荷後および食後の血糖値とHbA1c値の経時的計測。血糖値調節に関わる臓器の組織観察とスケッチ。				
	7	循環器系の解剖と生理	【到達目標】心臓の基本構造、心電図の基本原理を説明できる。 【実習内容】模型標本を用いた心臓の外形および内景の観察・スケッチ。安静時の心電図の測定。				
	8	数値データ解析	【到達目標】臓器による重量の違いや性差について説明できる。 【実習内容】雌雄ラットの主要臓器の重量計測と、各臓器重量(計測数値)の雌雄差の統計解析。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	実験レポート(100%)						
教科書	コメディカル専門基礎科目シリーズ 解剖学 コメディカル専門基礎科目シリーズ 生理学		澤田和彦・坂田ひろみ 編 桑名俊一・荒田晶子 編			理工図書 理工図書	
参考図書							
教員からのメッセージ	実験レポートは、コメント等を付して返却します。						